

No. **204** テーマ (フリガナ) ホンシャコウジョウノウニユウニオケルタイキシャリョウノボクメツ
 本社工場納入における待機車両の撲滅

会社・事業所名 (フリガナ) トヨタジドウシャカブシキガイシャ 発表者名 (フリガナ) マルヤマ ケンゴ
 トヨタ自動車株式会社 丸山 謙吾



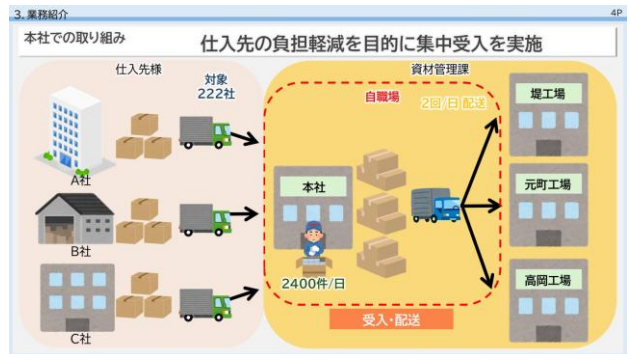
【テーマ】
 本社工場(本社)納入における待機車両の撲滅



【会社紹介】
 トヨタ自動車は愛知県豊田市に本社を構え、約7万人の従業員が在籍
 国内では、生産工場を11工場構え、お客様の笑顔のために日々自動車を生産



【職場紹介】
 資材管理課の使命は工場で使用される資材の調達・供給・管理となっており
 田原を除く10工場で活動
 作業は発注・受入・在庫管理・配達をしており、多種多様な資材を取り扱う職場



【職場紹介】
 本社では仕入先の負担軽減を目的に集中受入を実施
 集中受入とは、仕入先様が各工場へ直接納品するのではなく、
 本社工場で集中して受入を行い
 その後、各工場へ配送する仕組み

QCサークル紹介	サークル名 (フリガナ)		発表形式
	改善番長サークル (カイゼンバンチョウサークル)		プロジェクト
本部登録番号	177-2001	サークル結成年月	2015年3月
メンバー構成	12名	会合は就業時間	内・外・両方
平均年齢	36歳 (最高62歳、最低18歳)	月あたりの会合回数	2回
テーマ暦	本テーマで1件目 社外発表1件目	1回あたりの会合時間	1時間
本テーマの活動期間	2024年10月 ~ 2025年2月	本テーマの会合回数	6回
発表者の所属	生産管理部資材管理課	勤続	16年

4. サークル紹介 5P

改善部長サークル

サークルの強み
若手~中堅層が多くチャレンジ精神が強い

サークルリーダーの思い
個々の持っている知識・能力をフルに発揮し、難しいテーマにも果敢にチャレンジする

改善部長サークルレベル紹介

スコア: 6.4 (リーダーシップ 3.8, 改善能力 3.2, 多技能 3.3, 従来の考え方 3.3)

スコア: 6.8 (チームワーク 4.0, SS 4.0, OC実施状況 3.0, 技能向上意欲 4.0, 関連部署との連携 4.0)

【図1. 能力リーダーチャート】 【図2. 職場リーダーチャート】 【図3. サークルレベル】

【サークル紹介】
サークルリーダー安原、テーマリーダー丸山
サークルの強み、若手中堅が多くチャレンジ精神が強い
サークルリーダーの思い、
個々の持っている知識・能力をフルに発揮し、難しい
テーマにも果敢にチャレンジする
サークルレベルはBレベル

5. テーマ選定 6P

24年物流問題

ドライバー不足、積載率低下、荷卸し時間短縮、駐車確保

積載率向上 (50%積載率)、積載率の向上

新たに147社を本社受入として拡大を実施 (計369社が本社受入)

【表2. 活動計画表】

N	R	スタッフ	種別	10月		11月		12月		1月		2月	
				1	2	1	2	1	2	1	2		
1	1	原田の管理	棚卸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	1	対象の搬入	車山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	1	目標の搬入	原車	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	1	対象の搬入	新車	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	1	対象の搬入	新車	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	1	対象の搬入	空車	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	1	対象の搬入	山崎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	1	標準化	大石	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

【テーマ選定】
24年物流問題を受け、新たに本社受入対象仕先の拡大を実施
実施後、納入車両で待機が発生した為、
問題解消に向け取り組むことに決定

STEP1. 現状把握① 7P

(1) 仕事の目的を考える
《上位方針》 物流問題解消や更なるCN推進を踏まえた物流改善
《仕事の目的》 納入時間の短縮に向けた環境整備

(2) 仕事のあるべき姿を考える
納入時の待機車両 0台
待機とは一発引し駐車管理が滞り駐車できない状態

(3) 現状を確認する

建屋内レイアウト: 作業エリア、駐車枠①②③④、修理エリア、発送パレットエリア、待機発生場所、入口

【現状把握①】
上位方針、仕事の目的を踏まえ、仕事のあるべき姿を納入時の待機車両0台

STEP1. 現状把握② 8P

(3) 現状を確認する

調査期間10/1~31

待機発生状況: 一待機発生 (赤)、一毎日発生 (黄)、一月曜のみ発生 (緑)、一火曜のみ発生 (青)、一水曜のみ発生 (紫)、一木曜のみ発生 (茶)、一金曜のみ発生 (黒)

月曜ダイヤ、火曜ダイヤ、水曜ダイヤ、金曜ダイヤ

待機車両が37台/月発生している

【現状把握②】
待機車両を1ヵ月調査した結果、曜日、時間帯を問わず待機が37台/月発生

STEP2. 対策の狙い所① 9P

(1) 特性要因図の作成(系統図を使って要因を整理する)

特性: 納入車両で待機が発生

一次要因: 駐車枠が埋まっている

二次要因: ダイヤと違う時間にきている、ダイヤより駐車時間が長い

三次要因: 車両管理が行き届いていない、荷卸し時間が長い

【図4. 要因解析系統図】

(2) 要因の調査、車両管理が行き届いていない

なぜ実態が合っていない?
空気があったら停めていいと作業員から聞いている
前任ドライバーから引き継がれていない

私たちの働き...
作業員が個別に指示
ドライバーへの理解活動不足

来社時間調査

仕入先	設定時間	来場	期	9:00	9:10	9:20	9:30	9:40
○社	8:40~9:05	無	ダイヤ	○	○	○	○	○
□社	9:10~9:20	有	実態	○	○	○	○	○
△社	9:30~9:50	有		○	○	○	○	○

日々の入退場管理が出ていない

【対策の狙い所①】
要因、車両管理が行き届いていない
要因を調査した結果、
作業員が個別に指示していたり、ドライバーへの理解活動が不足
その結果、日々の入退場管理ができていない事が判明

STEP2. 対策の狙い所② 10P

(3) 対策の狙い所

【表3. 対策の狙い所】

要因の調査で分かった事	対策の狙い所
日々の入退場管理が出ていない	日々の実態を記録し管理する

STEP3. 目標設定

1. 定量的・具体的な目標を定める

【表4. 目標の設定】

項目	2月末までに	2月
納入時の待機車両を	37台を	0台にする

STEP4. 対策立案

【表5. 対策立案系統図】

対策立案	①~③点		④~⑥点		⑦~⑨点	
	1	2	3	4	5	6
日々の実態を記録し管理する	○	○	○	○	○	○
荷卸し時間を調査する	○	○	○	○	○	○
入退場時刻を申告してもらう	○	○	○	○	○	○
来社ボードを設置する	○	○	○	○	○	○

【対策の狙い所②】
要因から日々の実態を記録し管理する事に狙い所を設定

【目標設定】
納入時の待機車両を2月末までに37台を0台にすると目標を設定

【対策立案】
日々の実態を記録し管理する為に入退場時刻を申告してもらうを採用

